

倉敷アカデミックウインズ

第
22
回

定期演奏会

February 9, 2014 14:00



ごあいさつ

第22回 定期演奏会 実行委員長 **多田 文彦**

本日は「倉敷アカデミックウインズ 第22回定期演奏会」にご来場いただき、誠にありがとうございます。今年もこの倉敷市民会館で皆様にお会いできることを、団員一同、心より楽しみにしておりました。

今回、第1部では林原 郁雄 先生を客演指揮にお迎えし、今までにはない新しいアカデミック・サウンドをお届けできるよう、今日まで練習に励んでまいりました。

また第2部では、小さな子どもから大人まで楽しめるステージを企画しました。各方面からの素敵なゲストをお招きし、皆様に最高の「お・も・て・な・し」ができるよう、精一杯のパフォーマンスをさせていただきます。

最後になりましたが、演奏会を開催するにあたり、ご来場の皆様、いつもご支援・ご協力をいただいております関係者の皆様には、心より感謝申し上げます。

今後とも変わらぬご声援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



司会進行 **光畑 圭子**

大阪府茨木市出身。岡山芳泉高等学校、就実女子大学英米文学科卒。

「リビングおかやま」編集部記者からOHKテレビレポーターに転身。同時に、各種司会、テレビ・ラジオのCMなどナレーター活動も開始。英会話イーオンアミティのCD・PC教材は、日本語ナレーションをすべて担当。その後、FM岡山DJ等を経て、近年ではルネスホール初の結婚式披露宴の司会兼プロデュース、県立高校社会人講師として講演、話し方講座などを行い、フリーアナウンサー、司会者として幅広く活躍中。倉敷アカデミックウインズ定期演奏会の司会は、2001年から今年で連続14回目。ますますの充実ぶりが期待される。

PROGRAM

1st Stage 第1部

客演指揮／林原 郁雄

セドナ序曲
SEDONA

スティーヴン・ライニキー
Steven Reineke

組曲「イーストコーストの風景」
East Coast Pictures

ナイジェル・ヘス
Nigel Hess

第1楽章 シェルター・アイランド Shelter Island

第2楽章 キャッツキル山脈 The Catskills

第3楽章 ニューヨーク New York

2nd Stage 第2部

指揮／多田 文彦

ブラボー・ブラス!
Bravo Brass!

星出 尚志

ディズニーランド・セレブレーション
A Disneyland Celebration

マイケル・ブラウン 編曲
Michael Brown

アカデミック・タイム ～ヒミツのゲストが登場するよ!～

JIN-仁- Main Title

高見 優

A Tribute to the Count Basie Orchestra
指揮／林原 郁雄

真島 俊夫 編曲

Music Notes

1st Stage 第1部

セドナ序曲 Steven Reineke

オハイオ州ケッタリングの市民吹奏楽団の創団40周年を記念して委嘱を受け、2000年にスティーヴン・ライニキーによって作曲された作品。「セドナ」はアリゾナ州にある街の名前で、この曲はその景観に着想を得て書かれました。古来より、アメリカ先住民族（ネイティブ・アメリカン）の聖地として扱われていた土地で、独特の形をした岩山や大自然に囲まれ、「癒しの地」（スピリチュアル・スポット）として日本人にも知られています。同じくアリゾナ州にあるグランド・キャニオンに次いで観光客の多い場所です。

楽曲は、吹奏楽における序曲の典型的な形式で書かれており、大きく急—緩—急の三部分からできていますが、それぞれの部分に共通の主題が用いられて統一感を増しています。

組曲「イーストコーストの風景」 Nigel Hess

1953年にイギリスで生まれたナイジェル・ヘスの作品。英国青少年吹奏楽団の委嘱で1985年に作曲され、初演はその年の4月16日にブレント・タウン・ホールで行われました。

作曲者がアメリカの東海岸を訪れたときの印象をもとに、ニューヨークとその近郊の地名を付けた3曲からなる組曲です。

第1楽章

「シェルター・アイランド」
シェルター・アイランドはロング・アイランドのほぼ末端に位置している小さな島です。夏には多くの観光客でごった返しているのに対し、いざ冬になると霧に覆われ、厳しい雨にうたれる土地となります。この楽章はそんな冬のある週末の情景を描いています。

第2楽章

「キャッツキル山脈」
この楽章はニューヨークの北部に位置しているキャッツキルの山々を描いています。山々の静けさの中の力強さ、優しさの中の威厳といった魅力を巧みに表しています。ホルネットの独奏によって奏でられる美しいメロディーが聴きどころです。

第3楽章

「ニューヨーク」
マンハッタン島の大都会ニューヨークのにぎやかな景色が描かれている楽章で、マンハッタンの街中の喧騒と活気を表しています。緊急車両のものと思われるサイレンが楽章の終盤で象徴的に鳴り響き、これをきっかけにこの楽曲の最後の盛り上がりを作っています。

1st Stage Guest Conductor



客演指揮
林原 郁雄

1947年生まれ。

作陽音楽大学（現くらしき作陽大学音楽学部）卒業。同大学専攻科修了。

1975年4月作陽音楽大学常勤教員として赴任。

クラリネットを佐々木道也、佐倉友章の各氏に、指揮法を早川正昭氏に師事する。その後、ジャック・ランスロ、浜中浩一、村井祐児の各氏にクラリネットと室内楽の指導を受ける。1978年巖本真理弦楽四重奏団と共演したりサイタルをはじめ、オーケストラ、室内楽、吹奏楽、木管アンサンブル、クラリネット・アンサンブル等に数多く出演。

各地の吹奏楽コンクールやアンサンブルコンテストの審査員を務めるなど、吹奏楽指導者としても評価を得ている。

2007年にはイタリア・ミラノの国立ヴェルディ音楽院をはじめ、レナーテ市、バレーゼ市において、くらしき作陽大学音楽教育学科の「Accademia Wind Orchestra」 「Drum & Brass Corps "MUSICA"」の演奏会を成功させた。

また、クラブの「作陽ウインド・アンサンブル」では発足時の1990年から2009年まで20年間常任指揮者を、2010年から2013年3月まで音楽監督を務めた。

大学在職中は、音楽教育学科長、学生部長、音楽学部長を歴任し、2013年3月に任期満了により退職。くらしき作陽大学名誉教授。

2nd Stage 第2部

ヒミツのゲストがたくさん登場する
楽しいステージをお届けします。

だれが出てくるかは始まってからの
お・た・の・し・み!!

第54回岡山県吹奏楽コンクール



8月11日 第54回岡山県吹奏楽コンクール〈倉敷市民会館〉

倉敷アカデミックウインズ 一年の活動



5月26日 第5回わくわくコンサート〈水島公民館〉



10月20日 訪問演奏〈まきび病院〉



3月17日 アマチュアトップコンサート〈倉敷市民会館〉

12月8日 バンドフェスティバル〈総社市民会館〉

そのほか、中学生との合同練習会なども行っています。

倉敷アカデミックウインズでは新しい仲間を募集中です。
吹奏楽の経験がある方!一緒に音楽を楽しみましょう♪
まずは、一度私たちの練習に遊びに来てください。

Member List

OBOE

大月 美穂 川本 陽子 丸橋 章勇

PICCOLO

小野 真穂

FLUTE

赤澤 麻祐子 大元 幸恵 塩津 恵 南 恵梨 宮原 麻実

CLARINET

安宅 忠司 石田 純子 大河 悟子 大野 晶子 片岡 雅実(賛助) 古城 那菜(賛助) 関 文彰 橘 侑里
西村 美咲(賛助) 野口 倫子 登尾 真衣 三宅 宏美 宮谷 理紗子(賛助) 山根 千泉(賛助) 横山 弓子

BASS CLARINET

佐々井 美季(賛助) 宝来 理恵 横田 歌織☆

SAXOPHONE

井上 晃江☆ 門野 敏之☆ 苅田 朋子 畑本 麻美 堀田 萌衣

FAGOTTO

梶房 聖伸(賛助) 片山 真由美(賛助)

TRUMPET

金橋 美花 唐井 靖恵☆ 栗原 修一 小崎 敬正(賛助) 侍留 美咲(賛助) 多田 文彦☆
中山 幸治☆ 成山 恵子 野村 康祐 藤井 祐介

HORN

重松 真由美 平 友美 高谷 麻里子☆ 常國 真吾○ 中島 繭 林 智志 船越 恵(賛助)

TROMBONE

畝木 一成(賛助) 岡本 国芳 河村 朋成(賛助) 小原 則行 中田 有紀子(賛助) 野口 真央 三木 剛○ 行本 理恵

EUPHONIUM

坂本 幸洋☆ 佐藤 裕史○ 世戸 裕子☆ 守屋 香織

STRING BASS

志田 明恵(賛助)

TUBA

浅野 尚行 朽木 陽一 坂本 垂衣

PERCUSSION

日下 朋美 朽木 マキ 多兎 己和子(賛助) 火口 ひとみ 山本 祐子(賛助) 渡辺 麻野☆

○団長・総務 ○副総務 ☆実行委員



KURASHIKI ACADEMIC WINDS 22nd REGULAR CONCERT

本日の演奏会にご協力いただいた方々(敬称略)

- 照明／有限会社 オールライツ
- 音響／株式会社 サウンド・スケッチ
- 警備／株式会社 M・Kセキュリティー
- ステマネ／宗田 隆幸
- 写真／石本 薫
- 受付・舞台／井原吹奏楽団 メルヘン ウインド アンサンブル
- 株式会社 中川楽器
- 印刷／株式会社 山陽折込広告センター